

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	愛媛県における自己免疫性膵炎実態調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者（個人情報管理者）	愛媛大学医学部附属病院 助教 小泉光仁
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2035 年 3 月 31 日
対象となる方	2006 年 1 月から 2035 年 3 月に当院を受診された方のうち自己免疫性膵炎と診断された患者さん
利用する試料・情報等	（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 （利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液・細胞・排泄物など）
研究の概要（目的・方法）	自己免疫性膵炎（AIP）はステロイドが良く効く疾患ですが、ステロイド中止後に再燃すること、その予測が困難であることが問題であり、長期経過についても不明についても不明な点が多いのが現状です。本研究では愛媛県下の多施設における自己免疫性膵炎の実態調査を行うことで、愛媛県内の自己免疫性膵炎の発生状況、再燃率や再燃に関係する因子、合併症、長期予後を明らかにすることを目的とします。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたし

	ます。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院第三内科 小泉光仁 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5308

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学医学部附属病院 第三内科 小泉光仁
共同研究機関	松山赤十字病院 肝胆膵センター 横田智行 愛媛県立中央病院 消化器内科 黒田太良 四国がんセンター 消化器内科 大野芳敬 松山市民病院 消化器内科 田中良憲 済生会今治病院 内科 川崎敬太郎 済生会松山病院 内科 村上英広
既存試料・情報の提供のみを行う機関	松山赤十字病院 愛媛県立中央病院 四国がんセンター 松山市民病院 済生会今治病院 済生会松山病院